



西中だより

令和8年9月25日(金)

学校教育目標 「知を磨き、豊かな心とたくましい体をもった生徒の育成」

発行：校長 高岡 健

全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

今年度の全国学力・学習状況調査が4月21日に英語と質問紙、23日に国語と数学が行われました。その結果が、全国や県の状況とあわせて、各校に通知されましたので、本校の傾向や今後の改善の方策などについて、お知らせします。

○その前に・・・全国学力・学習状況調査とは・・・

毎年、本校では、「全国学力・学習状況調査」の結果などを学校だよりや学校HPでお知らせしています。その前に、この機会にあらためて、「全国学力・学習状況調査」とは、どんな目的で、どんな内容で行われているのかを、確認しておきたいと思います。次に、そのポイントを示します。

- 実施主体：文部科学省
- 対象となる学校・学年：全国の小中学校の最高学年全員(小6、中3)
- 調査内容：①学力調査：国語・数学を基本とし、3年に一度、英語や理科を加える ※今年度は英語を加えての実施
②学習状況調査：学習環境や生活環境を問う質問紙調査(アンケート)
- 目的：学校においては、自校の生徒の学力や学習環境・生活環境を把握・分析し、今後の指導の充実や改善に役立てる
- 実施時期：例年4月中下旬、各校による自校の結果公表は9月中

○「学力調査」(国語・数学・英語)の結果をお知らせします

今年度は、国語と数学、英語の3教科で実施されました。右に、山梨県と全国の平均正答率を示します。(英語は抽出された問題への回答なので500を基準にしたIRTスコアでの表示)

本校の各教科の結果(平均)は次のようになります。

(国語)

全国・県とほぼ同じ

正答率

	国語	数学	英語
全国平均	63.9	57	49.9
山梨県平均	63	56	49.3

(1) 全国との比較(全国の平均正答率と比べて)

- ① 高かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、上回ったもの) 15問中1問
・書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く
(「表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるかどうか」を見取る問題です)
- ② 低かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、下回ったもの) 15問中1問
・二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く
(「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうか」を見取る問題です)

(2) 全体的な傾向

- ・学習指導要領の内容では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」とともに概ね全国・県を上回っている。しかし、「読むこと」の領域が、全国・県と比較しわずかに下回っている。
- ・評価の観点別では、「知識・技能」が全国・県とおおむね同程度か、わずかに上回る値となっている。「思考・判断・表現」は昨年度と同様に、やや上回っている。